



中田青指のマーク

## 児童憲章

児童は、人として尊重される。  
児童は、社会の一員として重んぜられる。  
児童は、よい環境の中で育てられる。

# 青空

第41号

発行責任者 泉区中田地区  
青少年指導員協議会  
会長 國分満義  
発行日 令和2年3月

## 五輪イヤーの年、みなさんと共に



中田地区青少年指導員協議会

会長 國分満義

中田地区のみなさん、こんにちは。

みな様方には、私たちの活動にご理解とご協力を頂き感謝申し上げます。第26期の私たちは、この3月31日を持って2年間の任期が満了となります。とって素晴らしいメンバーに恵まれ、楽しく活動出来ました。4月1日からは、第27期が新メンバーでスタートすることになります。来期の新メンバーにも皆様の温かいご指導ならびにご協力をよろしくお願い致します。

去年は、元号が平成から令和になって祝賀ムードで沸いた一方で、幼児や児童が犠牲になるなどの無残な犯罪や台風15号・19号、更には横浜市で起きた鉄道事故、自動車事故など多く発生し、悲しみに包まれました。そして、新型コロナウイルス肺炎も恐怖です。

明るいニュースもありました。ラグビーの日本代表が史上初の決勝トーナメントに進出したことで日本中が一つになって応援したことが、未だに記憶に新しいところです。

2020年、21世紀になって、すでに20年が経ちました。00年とか10年、20年とか、数字の最後に0が付くと何か区切り・節目を感じるのは私だけでしょうか？

そして、今年は胸高鳴る五輪イヤーの年。夏のオリンピックが日本で開催されるのは56年ぶりのこと。神奈川県においても、サッカー（横浜

国際総合競技場）、セーリング（江の島）、野球・ソフトボール（横浜スタジアム）、自転車（相模原市と山北町）が会場ですね。56年前の東京オリンピックの時、私は10歳（小学校4年生）でした。重量挙げの三宅義信選手、マラソンのアベベ選手・円谷選手やバレーボールの東洋の魔女の姿がわずかに思い浮かぶ程度です。今回はしっかり応援させて頂こうかと思っております。

さて、私から新メンバーに対するメッセージとして、どうせやるなら、まずは自分なりの目標を定め、コミュニケーションと思いやりを大切に、中田地区のみなさんと共に「みんなは一人のために、一人はみんなのために」をスローガンに掲げ、楽しんで任期2年間の活動を行って頂きたいと思います。

最後になりましたが、皆様の益々のご健勝とご発展を祈念申し上げあいさつと致します。



中田中吹奏楽部、立場地区センターでの演奏

## 地域の役に立つ子どもたちに



中田小学校

校長 中村真弓

青少年指導員の皆様はじめ中田地区の皆様には、様々な行事を通して子どもたちが皆様のお役に立つ場を作っていただき、感謝の気持ちでいっぱいです。中田小学校に赴任して1年になろうとしています。年間を通して様々な場面で地域の皆様に見守られ、育てていただいていることを実感いたしました。

中田小学校では、子どもたちの「自己有用感」を育てることを大切にしております。「自己有用感」と似ている言葉に「自尊感情」や「自己肯定感」があります。自分ってすごい、という「自尊感情」は、褒めて子どもに自信をもたせるという発想です。一方「自己有用感」というのは、他の人に役に立った、他の人に喜んでもらえるなど、相手の存在なしには生まれてきません。「認められて自信をもって育つ」という発想です。人の役に立った、人から感謝された、人から

認められた、という「自己有用感」は、自分と他者、社会や集団との関係を自他ともに肯定的に受け入れられることで生まれる、自己に対する肯定的な評価です。つまり、「自己有用感」は社会性の基礎となるものと言えるでしょう。

難しく表してしまいましたが、地域の皆様に見守り育てていただいたことに感謝し、今度は地域の皆様の役に立つことをしてお返しができるような子どもたちを育てたい、ということです。そうすることで、子どもたちに自己有用感とともに地域に生きる社会性が身につくのだと思います。

子どもたちが自信をもって中田地区の未来を支えていけるよう、これまで同様に応援していただければ幸いです。

今後とも、よろしくお願い致します。

# 中田地区青少年指導員年間活動記録

## ふれあい“ザ”いずみ軽スポーツ大会

令和元年5月25日

毎年恒例の軽スポーツ大会が、本年度も晴天のもと和泉遊水地で開催されました。区内の障がい児者と中・高・大学生をはじめとする区民が、玉入れ・デカパン競走等の軽スポーツを通して、ふれあいを広め、助け合いの心を育むことを目的として開催されます。今年も千人以上の区民が集い、楽しみました。



▲ 玉入れ、たくさん入ったかな…



▲ 頑張って大玉をころがしています

## 全員研修会

令和元年6月9日

今回の全員研修会は立場地区センターにて講師に貝川弘行様を迎えての実施でした。貝川様は以前神奈川県で青指も経験されており、現在は地域のスポーツ振興に努められ、総合型地域スポーツクラブ「まる倶楽部」会長、横浜市の生涯スポーツ協会理事長です。いざ研修が始まると全員参加のトーク形式でみんなをリラックスさせて頂き、とても有意義な研修会でした。午後は地区対抗のバタンクで盛り上がりました。



▲ ゲーム形式による体験研修



▲ 今回は優勝めざして頑張るぞ

## 全市一斉パトロール

令和元年7月27日

毎年、中田地区の社会環境の実態把握と見守りを実施しています。これは青少年を取り巻く社会環境の健全化活動の一つで、今年度は民生委員・主任児童委員・青指の計26名が7班に分かれ、夜10時以降の公園、コンビニ、カラオケボックスのパトロールを行いました。

# キャンプ教室

(研修委員会) 令和元年7月13日～15日

キャンプ初日の午前中に、おだわら諏訪の原公園にある、全長169mのローラーすべり台に挑戦。一気に滑り降り、楽しんだ後、足柄森林公園丸太の森に向かいました。

キャンプ場では、雨が降ったりやんだり、予定のスタンプラリー、野外ゲームは中止。広い会館でバタンク競技をしたり、雨がやんでいる時に川遊びをする子もいました。夜は花火や、キャンドルファイヤーとゲームで大盛り上がりでした。初めて利用したキャンプ場でしたが、色々工夫して、有意義な二泊三日を過ごすことができました。



▲ おーい滑るなよ



▲ 朝日を浴びて食事です



▲ キャンドルファイヤーの始まりです



▲ キャンドルファイヤー火の神です

# サマーフェスティバル

(活動委員会) 令和元年8月17日

例年にも増して厳しい猛暑の中での開催となったサマーフェスティバル。

中田小学校マーチングバンドの演奏に始まり、楽しい演奏を繰り広げた中田中学校吹奏楽部、かわいい地域の子も達による太鼓演奏やダンス、小中学生企画ゲーム大会などフィナーレの花火まで、会場いっぱい皆さんの笑顔や歓声があふれた楽しいお祭りになりました。

来年度も楽しんで頂けるよう企画しますので、皆さんの参加をお待ちしています。

最後にご協力・協賛頂きました各団体・商店など、町内会・自治会の皆様、本当にありがとうございました。



▲ 中田小学校マーチングバンド



▲ 中田中学校吹奏楽部



▲ 学童保育所 太鼓演奏



▲ 新極真会中田道場 空手演武



▲ ジョイカンパニー子ども達ダンス



▲ 広町子どもフラダンス

## 横浜市青少年指導員研修会

令和元年9月8日 於 開港記念会館

## 御霊神社例大祭

令和元年9月22日



▲ 先導する幣束



▲ 中学生が頑張っています



▲ 長後街道子どもたちが山車を引いています

## 中田連合大運動会

令和元年10月13日(雨天中止)

## 東中田小学校“ふれあいDoing”

令和元年10月26日

学校・家庭・地域が作り上げる東中田小ならではの行事に参加しています。今年度は、前日の大雨の影響が心配されましたが、当日は心地よい秋晴れでの開催となりました。けん玉、ベーゴマ、お手玉などの昔遊びや新しい2種類の工作コーナーもあり、学年や男女に関係なく、また、先生方、保護者の方々とも楽しいひと時を過ごしました。



▲ 昔遊びでベーゴマうまく回せたね



▲ たけうま乗れるかな?

## 泉区ふれあい祭り

令和元年11月3日(和泉遊水地)

11月3日(日)、和泉遊水地において、泉区ふれあい祭りが開催されました。メインの3池会場では、ステージ発表と各種模擬店が中心になりました。また4池会場では子どもの遊び場として各イベントが行われました。

中田青指は3池会場の模擬店をスポーツ推進委員と協力しながら行い、4池会場にて昔遊びを開きました。多くの来場者により盛大に終わりました。



▲ けん玉上手だね!



▲ 準備万端! いらっしゃいませ

